

あふれあい vol. 99

社協は社会福祉協議会の略称です。



社協職員による仮設住宅への転居支援の様子

台風12号で被災された皆さまに 心よりお見舞いを申し上げます

- 台風12号災害支援
～大塔に広がる支援の輪～
- 平成23年度社協会費について
- 高齢者調査の結果報告
- 地域福祉活動計画とはⅡ

この広報誌は赤い羽根共同募金助成金・福祉基金・善意の日募金配分金の一部を使用して作成しています。



台風12号災害支援

大塔に広がる支援の輪

五條市大塔地域に大きな被害をもたらした台風12号災害は、9月4日の発生から3ヶ月が経とうとしています。

その間、被害に遭われた方々は、集落の孤立、避難所での生活、仮設住宅への移転など、日々状況が変わるなか、自宅に帰れない不安と不便な生活を余儀なくされています。

五條市社協では、避難指示によりボランティアセンターの立ち上げが困難な状況のなか、街頭募金活動、避難所支援や避難指示地域以外へのボランティア調整など、さまざまな活動を展開してきました。

今後とも関係機関・団体と連携をとりながら、仮設住宅への支援や大塔町の地域支援など、活動を継続していきます。

また、五條市内外からも「被災地のためにできることを」と、さまざまな方が様々な支援活動を展開し、助けあいの輪を広げながら、大塔町復興に向けての歩みをサポートしています。

今回はそのような中から一部を紹介させていただきます。

広がる様々な活動

仮設住宅への支援始まる

10月末日から始まりました避難されていた方々の仮設住宅（岡口の旧五條高校跡、大塔町阪本）への転居にあわせ、社協では軽トラック2台を借り上げて避難所（ロジ星のくに）に2週間配置し、活用いただきました。また、一人暮らしの高齢者など、転居を一人で行うことが困難な方の荷物運びを手伝いました。

さらに、佐賀県の高校や個人の方からご寄付いただいた雑巾350枚を、声掛けをしながら一軒一軒訪ねて配布しました。



技術を活かしてボランティア

台風12号災害により、泥で汚れたり、水で変色してしまった写真を、生駒市の写真家（三田崇博さん）が修復活動を行いました。東日本大震災の被災地で活動経験があり、今回は地元奈良でも活動したいとパソコンやスキャナーを使った写真修復を行い、貴重な写真とともに思い出がよみがえりました。

また、理容師による散髪や司法書士による法律相談など、様々な方が技術や知識を活かしたボランティア活動を行っています。



いち早く炊き出しボランティア

災害発生から5日後、炊き出しボランティアは五條市の赤十字奉仕団、更生保護女性会、婦人会の手により、いち早く活動を開始しました。

毎日、昼ごはんとは晩ごはんの2食分。多い時には200人分を超える炊き出しを献立や材料準備など、すべて一から考えて行い、2週間にわたって避難所や孤立地域で暮らす被災者の方々に手作りの食事を届けました。



大塔へ届けたい!!

本や果物を避難所へ

避難所生活では娯楽が少なかったり、生鮮食品がなかったりと、日常生活とは違い様々な不自由さがあります。

そこで、そんな生活を少しでも改善できればと社協からは募集して集めた本・雑誌・DVDなどを、大淀町の果樹組合からは新鮮な梨50箱が届けられました。



義援金街頭募金活動

9月17・18日(土・日)社協職員がスーパーの店舗前など市内4カ所、募金を呼びかけました。当日は大塔のためになるならと多くの方たちに義援金(306,699円)をいただきました。

義援金は五條市を通じ、被害に遭われた方たちに届けられます。

このほかにも、義援金募金活動は市内外を問わず、多くの団体が活動を展開しています。

五條市善意銀行から保育所、小・中学校へ

日頃より住民の皆さまから、五條市善意銀行にいただいているご寄付の一部を払い出し、大塔保育所、小・中学校の子どもたちへ制服や学校等での生活用品を寄贈させていただきました。

支援活動はこれからも続く

仮設住宅へ

現在、岡口の旧五條高校跡に40世帯、大塔町阪本(天辻地区)に17世帯が生活しておられますが、住みなれた地域から離れて生活することに多くの不安を抱えておられます。

そんな新しい地域で暮らす不安を少しでも減らせるよう、五條市社協ではお困りごとを聞くことから始め、地域住民との交流、孤独感の軽減や生きがいづくりなど様々な活動を行っています。

大塔の地域へ

大塔地区では災害による避難の影響で、住民の方々やお店が少なくなっている地域があり、今までの近隣の助けあいやつながりが薄れていくのではないかとという新たな地域課題があります。

そこで、今までと同じようにその人らしく暮らせるよう、見守り活動やお困りごと相談の強化などを通じて、地域のつながりを再構築できるよう支援を継続していきます。

寄付やボランティア活動など、何か具体的な支援をお考えの方や何か力になりたいという方がおられましたら、五條市社会福祉協議会までご相談ください。

ただし、支援先との調整により、ご期待に添えない場合がありますのでご了承ください。

社協のホームページを開設!!

11月8日、五條市社協のホームページを開設しました。

ホームページでは、社協の事業はもとより、台風12号災害における支援情報、ボランティア情報などを掲載しています。

最新の情報をご確認いただけますので、ぜひご覧ください。

<http://www.shakyo.or.jp/hp/1250/>

五條市社会福祉協議会

検索

平成23年度 社協会費へのご協力 ありがとうございました

実績額

(11月15日現在)

会費 (年額1口)	会員数	口数	金額
個人会員 (500円)	9,125名	9,125口	4,562,500円
賛助会員 (5,000円)	21団体	36口	180,000円
構成団体会員 (5,000円)	12団体	41口	205,000円
合 計			4,947,500円

社協会員は随時募集しています。
・個人会員 五〇〇円
・賛助会員 五、〇〇〇円

会費のつかいみち

◆地域福祉活動のために◆

- 個人会費の50%を地区社会福祉協議会の活動財源として各地区へ助成
- 以下の事業を行う地区社会福祉協議会へ
 - ・ふれあい事業 (基盤強化・世代間交流・福祉教育等の福祉のまちづくり活動)
 - ・ふれあい・いきいきサロン事業 (高齢者や子育て中の親等が気軽につどい、仲間づくりや健康づくりを目的としたグループ活動)
 - ・小地域ネットワーク活動 (福祉委員によるニーズ把握やボランティア協力員による訪問活動)
- 在宅福祉サービス (声の広報、ふれあい文通、福祉機器の貸出) の実施
- ふれあい相談 (心配ごとや人権、家事・民事、家庭、行政、介護等の総合相談) の実施 など



【田園地区社協 ゆうあいサロンの様子】

◆福祉教育のために◆

- ふれあい講座 (小・中学生が福祉施設での体験を通じて福祉の心を育む講座) の開催
- 福祉教育地域実践事業 (住民が地域の一員として共生する大切さや福祉への理解を深めるための実践プログラム～西吉野ええとこ見つけ隊、大塔ふくしサマーキャンプ～) の実施 など



【ふれあい講座の様子】

◆ボランティア活動のために◆

- ボランティアの育成、活動支援、活動保険への加入
- 各種ボランティア研修会の開催
- エコキャップ・古切手・ロータスクーポンの各種収集活動の実施 など

◆構成団体会員◆

- ・五條市民生児童委員連合会
- ・五條市遺族会
- ・五條市老人クラブ連合会
- ・五條市地区婦人会連絡協議会
- ・五條市赤十字奉仕団
- ・五條市商工会
- ・五條地区保護司会
- ・五條市医師会
- ・五條市視覚障害者福祉協会
- ・五條市身体障害者福祉協会
- ・五條市子ども会育成連合会

(敬称略・順不同)

◆賛助会員◆

- ・金陽製菓(株)
- ・光洋機械工業(株)
- ・五條ライオンズクラブ
- ・五條ロータリークラブ
- ・西明寺 住職 杉山環仁
- ・奈良県農協五條支店
- ・奈良県農協北宇智支店
- ・奈良県農協野原支店
- ・奈良県農協南宇智支店
- ・奈良県農協西吉野支店
- ・(株) エム・シー富士
- ・(株) 柿の葉すし本舗たなか
- ・(株) 柿の葉すしヤマト
- ・(株) 五條モータース
- ・(株) ツボイ
- ・(株) ワースリビング
- ・(社) 五條青年会議所
- ・(福) 一会
- ・グループホーム白寿荘
- ・五條市更生保護女性会
- ・五條市歯科医師会

(11月15日現在)

高齢化率

全国

23.10%
(平成22年10月)

奈良県

23.44%
(平成22年10月)

五條市

27.88%
(平成22年10月)

27.96%

(平成23年10月現在)

しあわせに暮らすための目標について

内閣府発行の「高齢社会白書」には、生活上の実態が詳しくわかる報告がされています。その内容によると、ひとりぐらしの高齢者は増加傾向にあるが、ひとりで過ごすことには、不安を感じているという結果が出ています。そのことから、近所で気軽に相談できる相手が必要だと思われます。

社会福祉協議会では、一人ひとりができる声かけなど、「みんながしあわせに暮らせるまちづくり」を皆さんとともにすすめていきます。

今年度の調査結果は昨年と比べると、地区によって違いはあるものの全体的には、ひとりぐらしや高齢者のみの世帯が増加しています。

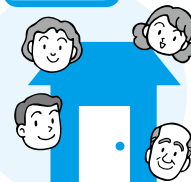
また、五條市の高齢化率は年々増加しており、3.6人に1人は高齢者ということになります。

今年度の結果から

この調査は、毎年10月に社会福祉協議会が民生委員・児童委員のご協力をいただき実施しています。

調査項目は市内の65歳以上のひとりぐらし、ねたきり、認知症、高齢者のみで構成されている世帯で、その実数を調査し、高齢者施策の基本資料としています。

高齢者調査



高齢者調査集計 平成23年10月1日現在

単位：ひとりぐらし・ねたきり・認知症（人） 高齢者のみの世帯（世帯）

地区名	ひとりぐらし			ねたきり			認知症			高齢者のみの世帯		
	23年度	22年度	増減	23年度	22年度	増減	23年度	22年度	増減	23年度	22年度	増減
本町	79	78	1	2	1	1	2	2	0	50	50	0
中央	46	39	7	2	2	0	0	0	0	17	15	2
五條東	52	51	1	3	4	▲1	0	0	0	18	20	▲2
須恵岡口	95	97	▲2	10	13	▲3	2	2	0	84	74	10
新町	49	49	0	2	5	▲3	4	4	0	28	30	▲2
二見	140	130	10	5	4	1	1	2	▲1	132	133	▲1
野原	106	113	▲7	13	15	▲2	14	9	5	117	109	8
宇智	152	147	5	9	13	▲4	2	1	1	142	143	▲1
牧野	37	39	▲2	10	8	2	3	4	▲1	43	45	▲2
田園	32	33	▲1	1	2	▲1	0	0	0	59	59	0
阪合部	62	61	1	11	10	1	1	0	1	74	67	7
北宇智	68	61	7	5	5	0	3	4	▲1	74	64	10
南宇智	51	45	6	6	5	1	1	1	0	41	42	▲1
南阿太	20	13	7	4	2	2	3	1	2	8	7	1
大阿太	19	16	3	7	5	2	4	1	3	30	29	1
西吉野	192	195	▲3	7	7	0	1	2	▲1	135	126	9
大塔	63	68	▲5	1	2	▲1	1	1	0	47	50	▲3
合計	1,263	1,235	28	98	103	▲5	42	34	8	1,099	1,063	36

※大塔地区については、一時的に地区外へ避難している方も含まれています。

高齢化率とは

65歳以上の高齢者が人口に対してどれだけの割合を占めているかという数字で、21パーセントを超えると超高齢社会といわれています。

地域でつくる民間計画!!第2回

地域福祉活動計画

地域福祉活動計画とは、地域福祉を進めるために住民の皆さま、NPO 法人、ボランティアや当事者団体がどのように主体的に関わっていくのかをまとめた民間計画です。

また、同じような名前の計画に行政が主体となつてつくる「地域福祉計画」というものがあります。その違いや関わりはどういったものなのでしょう？

	地域福祉活動計画	地域福祉計画
策定主体	民間 (住民・社協等)	行政
計画内容	住民等が、どう主体的に地域福祉に関わり、どのような活動を行っていくのかを示しています。	行政が、どのように地域福祉施策を行っていくのかを示しています。

策定主体が民間と行政という違いはありますが、この2つの計画はお互いに補完・補強し合い、ともに地域福祉の向上を目的とする計画となります。

平成23年度「善意の日」募金へのご協力
ありがとうございました

募金実績額 3,482,854円

本年度も、五條市自治連合会のご協力のもと、住民の皆さまから募金へのご協力をいただき、ありがとうございました。

集められた募金は、善意銀行を通じて配分し、地区社協や市社協の活動財源として、世代間交流・見守り活動・福祉教育・福祉啓発・ボランティア活動など、地域福祉活動のために使われます。



ひとりで悩まずお気軽に

こんなことで困っていませんか？

家族のこと、子育てのこと、介護のこと、近所とのトラブル、行政に関すること、人権に関することなど、気軽にご相談ください。

【面接相談】 福祉センター（新町3丁目3-2）

実 施 日	相 談 員
月～金曜日 9時～17時	相談コーディネーター
火曜日 13時～16時	家事・民事相談員 ※要予約
水曜日 13時～16時	行政相談委員
木曜日 13時～16時	人権擁護委員
金曜日 13時～16時	民生児童委員

【電話相談】 ☎ 24 - 2200

■受付日時 9:00～17:00(月曜～金曜)
※17時以降と休館日は、留守番電話

ご寄付いただき ありがとうございました

(敬称略) 平成23年8月16日～平成23年11月15日 (単位:円)

福祉基金

金 額	氏 名	住 所	摘 要
300,000	宗教法人辯天宗 野原西4-6-25		灯籠流しチャリティー 収益金
50,000	櫻本 旨代	上之町340	亡母供養のために

善意銀行

金 額	氏 名	住 所	摘 要
8,000	岩倉 良子	三在町91	地域福祉のために
25,000	生蓮寺世話人会和讃講 二見7-4-7		地藏盆チャリティーバ ザー収益金
雑巾105枚	高山 典子	豊中市中桜塚5-17-22-504	大塔町被災地へ
30,000	本田里和子	西吉野町屋那瀬268	地域福祉のために
103,000	奈良県退職女教師の会 五條支部有志一同		台風12号被害による大塔 町の小・中学校の子ども 達へのお見舞(指定預託)
雑巾240枚	唐津工業高等学校1年生一同 唐津市石志中ノ尾3072		大塔町被災地へ (仮設住宅)
3,482,854	五條市自治連合会		平成23年度「善意の 日」任意預託募金

福祉基金…積み立てられた預金の利子を地域福祉の活動資金として役立てます。
善意銀行…皆さんの善意を災害見舞金など市民の福祉向上に役立てます。



ふれあいネットワーク



発行/社会福祉法人**五條市社会福祉協議会**

〒637-0043 奈良県五條市新町3-3-2

TEL 0747-24-4152

FAX 0747-24-4153